

16 動物愛護管理

動物愛護管理に関する業務は、動物愛護思想の普及や適切な飼育管理の啓発を行い、また、狂犬病の予防や、動物による危害の防止を目的としています。

「動物愛護管理」、「狂犬病予防」、「動物保護収容」業務に大別することができます。

1 動物愛護管理

動物の愛護及び管理に関する法律並びに横浜市動物の愛護及び管理に関する条例に基づき、動物愛護思想の普及や適切な飼育管理の啓発・指導等を図りました。

(1) 動物愛護普及啓発事業

動物愛護及び適切な飼育について市民の理解と関心を深めるため、飼い主をはじめ、学校、町内会等において広く市民を対象に、犬・猫のしつけ方教室の開催や啓発リーフレットの配布など普及啓発事業を実施しました。

動物愛護普及啓発事業

年 度	幼稚園・保育園		学校関係		町内会等		飼い主		その他	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
平成 22 年度	5	35	45	2,088	39	1,102	180	4,434	31	6,831
平成 23 年度	5	243	76	1,980	14	163	112	2,552	30	2,620
平成 24 年度	6	84	17	1,646	30	1,349	47	1,102	40	1,445

(2) 特定動物の飼養又は保管許可

法律で定める「特定動物」を飼養又は保管する場合には、市長の許可が必要です。本市では市内 3 動物園で合計 43 種類 164 頭の特定動物が飼養されているほか、サル 2 件 5 頭、ワニ 7 件 11 匹、クマ 1 件 2 頭、ヘビ 8 件 10 匹、カメ 5 件 6 匹、大型ネコ 3 件 6 頭、ワシ 1 件 1 羽が飼育されており、飼育施設の巡回監視を行い、危害発生防止の指導等を行いました。

(3) 動物取扱業の登録

法律で業種単位での登録が義務づけられている動物取扱業者について、飼養施設の確認検査、指導等を実施しました。

動物取扱業の登録数（平成 25 年 3 月 31 日現在）

事業所数	業種別登録数					
	合計	販売	保管	貸出し	訓練	展示
1,098	1,397	403	782	32	148	32

(4) 犬による咬傷事故

咬傷事故の届出は 86 件ありました。咬傷犬の内訳は飼い犬 92 頭、野犬等 12 頭で、被害者は成年 82 人、未成年 23 人でした。

市民には、今後とも犬の習性等の知識普及に努めるとともに、犬の適切な飼育管理について飼い主への指導強化を推進し、犬による危害防止に努めてまいります。

犬による咬傷事故件数

	届出咬傷事故 事件数	咬傷犬数			咬傷時の犬の管理状態				
		合計	飼い犬	野犬等	合計	係留中 犬舎等に	運動中 係留して	放し飼い	その他
平成 22 年度	72	90	70	20	90	7	50	14	19
平成 23 年度	87	99	88	11	99	10	43	14	32
平成 24 年度	86	104	92	12	104	12	42	12	38

	被害者数					犬検診数			
	合計	成年		未成年		合計	センター 福祉保健	センター 動物愛護 （*）	開業獣医師
		飼い主 家族	その他	飼い主 家族	その他				
平成 22 年度	92	3	69	2	18	65	0	2	63
平成 23 年度	103	3	77	0	23	80	1	1	78
平成 24 年度	105	9	73	2	21	87	3	2	82

（*）平成 22 年度は畜犬センター

(5) 犬の苦情等

市民からの苦情、相談等は、横ばい傾向にありますが、依然として「ふん尿による被害」の割合が大きくなっています。そこで、各区において、飼い主への啓発キャンペーンの実施やモラル向上を訴えるプレート、チラシ等の配付等を行いました。

近年増加している多頭飼育が原因となる苦情は51件でした(再掲)。

また、野犬等や負傷犬の保護・収容頭数は、314頭で、飼えなくなった犬の引取りは94頭でした。

犬の苦情等

		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
苦情等内容件数 (合計)		3,402	4,022	4,468
内 訳	野犬等保護	302	311	297
	放し飼い	195	168	171
	ふん尿	1,462	1,717	1,735
	鳴き声	278	330	352
	身体・器物の被害	175	124	190
	不適切な取扱い・虐待	57	69	100
	登録・注射に関すること	724	920	1,246
	その他	209	383	377
失踪犬・保護犬の問合せ		2,788	2,181	1,992
飼育相談		1,234	889	1,092
飼い犬引取り頭数 (合計)		72	77	94
内 訳	成犬	72	77	91
	子犬	-	-	3
措 置 件 数	指示票	213	194	240
	通知書	1	2	1
	勧告	-	-	-
	措置命令	-	-	-
	その他	3,124	3,667	4,152

(6) 猫等の苦情

猫に関する苦情の大部分は、飼い主としての自覚や責務の欠如により、不適切な飼育管理が行われることによるものです。各区では、猫に関する苦情・相談について、個々に対応するとともに、他人に迷惑を及ぼさないよう「猫の正しい飼い方」の周知徹底を図りました。

猫等の苦情

		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
苦情等受付件数 (合計)		2,670	3,121	3,778
内 訳	飼 い 猫	366	340	3,147
	飼 い 主 不 明 猫	2,224	2,699	584
	飼 育 動 物	73	49	47
	飼 い 主 不 明 動 物	7	33	-
苦情等内容件数 (合計)		3,442	3,655	4,359
内 訳	ふ ん 尿	1,217	1,337	1,376
	臭 気 ・ 羽 毛	335	180	192
	鳴 き 声	145	129	94
	身 体 ・ 器 物 の 被 害	217	113	133
	不 適 切 な 取 扱 い ・ 虐 待	81	89	80
	収 容 に 関 す る 相 談	1,033	1,091	1,189
	そ の 他	414	716	1,295
飼育相談		1,035	836	710
措 置 件 数	指 示 票	33	42	25
	通 知 書	-	-	-
	勸 告	-	-	-
	措 置 命 令	-	-	-
	そ の 他	2,833	3,313	3,927

(7) 猫の不妊去勢手術推進事業

猫 4,546 頭を対象に、のら猫が 1 頭当たり 6,000 円 (市 5,000 円、横浜市獣医師会 1,000 円)、飼い猫が 1 頭当たり 4,000 円 (市 3,000 円、横浜市獣医師会 1,000 円) を助成することにより不妊去勢手術を推進しました。その結果、のら猫 3,317 頭 (オス 1,397 頭、メス 1,920 頭)、飼い猫 1,229 頭 (オス 651 頭、メス 578 頭) の不妊去勢手術が行われました。

(8) マイクロチップ装着推進事業

市民の飼養する犬及び猫を対象として、1 頭あたり 2,000 円 (市 1,500 円、横浜市獣医師会 500 円) を助成することにより、マイクロチップの装着を推進しました。その結果、犬 446 頭、猫 360 頭にマイクロチップが装着されました。

2 狂犬病予防

日本国内では昭和 32 年以来狂犬病が発生していませんが、海外では先進国を含む多くの国で狂犬病が流行しており、いつでも狂犬病が国内に侵入する可能性があることは否定できず、引き続き狂犬病に注意を払う必要があります。

狂犬病予防法に基づき、犬の飼い主は登録と年1回の狂犬病予防注射を行うことが義務付けられています。本市では、飼い主に対して「狂犬病予防注射のお知らせ」を送付し、飼い主の意識向上を図るとともに、市民の利便性を考慮し、定期集合注射会場を260か所設けました。

また、登録等推進策として、公益社団法人 横浜市獣医師会に委託し「犬の適正飼育推進事業」を実施しています。

狂犬病予防事業実績

	登録頭数 (年度末)	登録申請数				鑑札再交付数	定期集合狂犬病 予防注射実施数	注射済票交付数		
		合計	鑑札交付数	減免措置数	無償交付数			合計	済票交付数	減免措置数
平成22年度	177,176	13,927	12,774	108	1,045	912	39,860	132,436	132,177	259
平成23年度	177,012	13,586	12,414	90	1,082	867	39,742	133,286	132,990	296
平成24年度	180,490	12,528	11,315	85	1,128	956	38,180	132,459	132,215	244

3 動物の保護収容

動物の愛護及び管理に関する法律並びに横浜市動物の愛護及び管理に関する条例に基づき、飼えなくなった犬・猫、飼い主がわからない犬・猫の引取りを行い、また、傷病の犬・猫等の治療を行いました。

収容した動物については、ウェブサイトにて情報を掲載し、飼い主への返還率の向上を図るとともに、動物の性格、適性を判断した上で、不妊去勢手術及びマイクロチップの装着を実施し、可能な限り希望者への譲渡を推進します。

動物保護収容実績

(単位：頭)

	平成22年度			平成23年度			平成24年度			
	犬	猫	その他	犬	猫	その他	犬	猫	その他	
収容総数	374	*	*	395	1,565	11	408	1,541	15	
内訳 収容数	飼い主不明	283	*	*	289	988	-	282	-	-
	捕獲	17	*	*	17	-	-	19	940	-
	飼えなくなった	72	*	*	77	140	-	94	184	-
	負傷	2	*	*	12	437	11	13	417	15
返還	202	*	*	206	4	1	203	4	3	
譲渡	67	*	*	122	392	3	117	536	9	
安楽死処分	96	*	*	48	188	-	61	527	-	
自然死	-	*	*	6	669	1	10	221	-	
死体搬入	-	*	*	1	256	6	1	222	3	

*動物愛護センター開所以前の「猫及びその他の動物」については、横浜市獣医師会に委託していたため、掲載しておりません。

なお、獣医師会委託時の実績は以下のとおりです。

猫等の引取り件数

年度	合計	飼い猫	飼い主不明猫	負傷の猫・小動物	
				重傷の猫等	中軽傷の猫等
平成22年度	1,339	155	879	263	42